

令和3年度定期総会 開催 ～今年度は対面で～



5月23日、狭山市立中央公民館にて令和3年度定期総会が開催されました。総会は竹迫ミナミ副会長の開会の言葉で始まり、小川会長からは「昨年度はコロナウイルスに振り回された一年でしたが、後半からは各地でも工夫しながら文化活動が再開されるようになりました。残念ながら文団連でも三つの自主事業を全て中止または延期せざるを得ませんでした。今年度は青少年文化体験フェスタと市民芸術祭は実施する方向で準備を始めています。皆様のご協力をよろしくお願いします」との挨拶があり、続いて大野松茂顧問からご挨拶をいただきました。なお、例年、来賓として市長や市議会議長にも参席いただいていましたが、今年はコロナ禍での開催を考慮して、外部から来賓をお迎えするのを控えさせていただきました。

定足数40人に対し、出席30人、委任状26人で総会は成立。塩野谷延夫理事を議長に選出して議事に入り、まず令和2年度の事業報告、続いて決算・監査報告がなされ、挙手多数で承認されました。さらに、役員・顧問の改選では、副会長として山崎光雄氏が、また常任理事として鈴木強氏と吉田京子氏が新たに就任されました。最後に令和3年度の事業方針・重点項目・事業計画案と予算案が承認され、全議案の審議が終了、山崎光雄新副会長の辞で無事閉会となりました。

●令和3年～4年度 役員・監査・顧問

- 会 長：小川忠史
- 副会長：竹迫ミナミ・山崎光雄
- 会計長：張替絹子
- 事務局長：藤寿紫峰
- 常任理事：五十嵐牧子・小川豊子・鈴木 強
中村伶華・吉田京子
- 監 査：土田登喜子・村田昌弘
- 顧 問：大野松茂



新役員



大野松茂顧問

●令和3年度基本方針

生き生きとした文化人が狭山にあふれることを目標とする。また市および関係各団体と協働し、狭山市が優れた文化都市になることを目指す。

《重点項目》

1. 渉外委員会を中心として、会員の拡大を推進する。
2. 所属団体の活性化を図る。
3. 狭山市の文化環境を豊かにする。
4. 自主事業の発展的継続を図る。
5. 狭山文化の掘り起こしと普及を進める。